

県政から寒川町につなぐ

未来をつくる学校 未来につなぐ教育と蘇る離島 Ⅱ 続編

神奈川県議会議員 山本哲

前号のあらすじ 廃校の危機にあった島根県立

隠岐島前高校が、教育魅力

力化プロジェクトによって、8年で生徒数が倍増。

その本気な姿勢とは。今

回はその後編です。

離島に設立した隠岐國

学習センターでは、幅広

い学力層の生徒の学習を

らなりません。

サポートし、一人ひとりの進路実現を支援します。

カリキュラムの特徴として、自ら学ぶ力（自立学

習力）を育成する「教科

指導」と、対話や実践を

通じて自分の興味や夢を

明確にしていくための授

業「夢ゼミ」の2種類か

らなりません。

スタートさせた隠岐島

前教育魅力化プロジェクトの成果は目覚ましく、

当初、島留学制度について「こんな島にわざわざ

来る学生はいない」と周囲の反応は冷ややかでし

日本中から生徒集まる

スタートさせた隠岐島

前教育魅力化プロジェクトの成果は目覚ましく、

当初、島留学制度について「こんな島にわざわざ

来る学生はいない」と周囲の反応は冷ややかでし

たが、今では島留学希望

者は募集を大幅に超える

ようになり、日本中から

生徒が集まり難関大学に

も多数の合格者を出すま

でに。また、教育環境の

充実から移住者の増加だ

けでなく、生徒たちの島

外流出を食い止め、島内

出生数も大幅に増加する

までになりました。

これまで隠岐島前高校

の卒業生の95%以上は進

学や就職で本土へ出てい

き、そのうち島へ帰って

くる人の割合は3割に過

ぎなかつたそうです。島

を出た人に「島に帰らな

い理由」を訪ねると、「帰

りたくても島前に仕事

がない」「働く場所がない

」とその多くが答えます。

仕事や働く場所を誰かが

用意してくれるのを待つ

ていては、その前に地域

自治体がなくなります。

隠岐島前教育魅力化プロ

ジェクトは「魅力的で持

続可能な学校と地域をつ

くる」ことをビジョンに

掲げています。

小さな離島から

日本の縮図垣間見た

今回の県外調査は決して

対岸の火事ではなく、

小さな離島から日本の縮

図を垣間見た感慨深いも

のです。今、人口減少社

会という言葉の出現が示

す様に、日本の人口は長

期にわたって減少し続け

ると言われています。

現在、神奈川県は東京

都に次ぐ全国で第2位の

人口を誇り、その数は平

成30年8月1日現在で9

18万人を超えました。

しかしながら、県内には

既に人口減少が始まって

いる自治体があるのも事

実。今回の調査では県立

高校と3つの地元町村と

が島の課題に向き合い、

きました。

これから県議会での

活動を町民の皆様にお伝

えできる様、議会活動の

「見える化」に努めて参

ります。

たった1つ

しかない県

立高校の廃

校の危機か

ら離島（地

域）の再生

を考えた取

組みを2回

に渡りご紹介

させていただきます

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

寒川町PTA連絡協議会会長・町立寒川小学校PTA会長
寒川町商工会理事・一般社団法人寒川町観光協会理事
社団法人茅ヶ崎青年会議所第36代理事長・茅ヶ崎警察署協議会会長

山本 哲事務所

寒川町岡田279-2F ☎0467-84-7551
http://tetsu-yamamoto.com

これまで隠岐島前高校の卒業生の95%以上は進学や就職で本土へ出ていき、そのうち島へ帰ってくる人の割合は3割に過ぎなかつたそうです。島を出た人に「島に帰らない理由」を訪ねると、「帰りたくても島前に仕事がない」「働く場所がない」とその多くが答えます。仕事や働く場所を誰かが用意してくれるのを待っているのは、その前に地域自治体がなくなります。隠岐島前教育魅力化プロジェクトは「魅力的で持続可能な学校と地域をつくる」ことをビジョンに掲げています。

今回の県外調査は決して対岸の火事ではなく、小さな離島から日本の縮図を垣間見た感慨深いものでした。今回の調査では県立高校と3つの地元町村とが島の課題に向き合い、

た。今、人口減少社会という言葉の出現が示す様に、日本の人口は長期にわたって減少し続けると言われています。現在、神奈川県は東京都に次ぐ全国で第2位の人口を誇り、その数は平成30年8月1日現在で918万人を超えました。しかしながら、県内には既に人口減少が始まっている自治体があるのも事実。今回の調査では県立高校と3つの地元町村とが島の課題に向き合い、

時局講演会

- 日時 平成30年11月11日(日) 受付17時30分 18時00分～19時30分
- 場所 寒川神社参集殿
- 講師 初代女性活躍担当大臣 参議院議員 有村治子 先生

テーマ「美しい日本のこころ」
※入場無料



た。今、人口減少社会という言葉の出現が示す様に、日本の人口は長期にわたって減少し続けると言われています。現在、神奈川県は東京都に次ぐ全国で第2位の人口を誇り、その数は平成30年8月1日現在で918万人を超えました。しかしながら、県内には既に人口減少が始まっている自治体があるのも事実。今回の調査では県立高校と3つの地元町村とが島の課題に向き合い、